



学校だより 12月号



かけがえのない一人一人が大切にされる学校に

校長 三橋 淳子

令和元年も残すところあと1か月となりました。

おかげさまで、11月8日に都田西小学校の40周年記念式典を行うことができました。今回は場所の関係で保護者の皆様にお声掛けすることができませんでしたが、全校児童と学校に関りをもってくださっている皆様とともに、40周年を祝う時間をもつことができました。

実は、この記念式典を通して、昭和54年の開校当時、そして校旗や校歌が制定された昭和59年ごろの様子を伺う機会を得ることができ、私自身が改めて40年という年月に思いを馳せる時間を頂きました。

創立5周年の記念誌には、昭和54年当時の都田小学校には1,600名を超す児童が在籍しており、教育環境の適正化のために本校の開設に至ったこと、それに際しては多くの皆様のお力添えがあったこと、開校に前後して教育環境の整備が迅速に進められたこと、5周年を迎えるにあたり、地域の皆様のご尽力により校旗と校歌が制定されたことが記されています。

当時の様子をご存じの方からお話を伺う中で、現在大切な行事などで使用している校旗、機会あるごとに子ども達が元気な声で歌う都田西小校歌の歴史は、学校、保護者だけでなく、地域の皆様の思いで作られてきたものであることを実感いたしました。子ども達とともに、大切にしていきたいと思えます。そして、都田西小学校に関わりをもつ子ども達、保護者や地域の皆様、教職員だけでなく、40年の歴史の中で都田西小学校を作り上げてこられた、たくさんの皆様の思いを大切に、都田西小学校を確かな学びを実現できる学校にするために、これからも力を尽くしていきたいと思えます。

記念式典当日には、お子さんが記念のリーフレット、クリアファイル、あられ、ハンドタオルを持ち帰られたと思いますが、あられ、ハンドタオルにつきましては、PTA本部を中心とする皆様にご準備いただきました。ありがとうございました。

12月4日から10日にかけての7日間は、人権週間です。法務省のホームページを見ますと、「みんなで築こう人権の世紀～考えよう相手の気持ち、未来へつなげよう違いを認め合う心」というメッセージとともに、「思いやりの心」「かけがえのない命」についてもう一度考えてみませんか、という呼びかけを見ることができます。

本校でも同じ期間を人権週間として設定し、「自他ともにかけがえのない存在であるという意識を高める」ことを中心に、自分と同じように仲間も大切であることを考え、いじめや差別をしない心を育てることに重点をおいた授業を各学級で行います。

都田西小学校が「誰もが」「安心して」「豊かに」生活できる学校となるよう日々の教育活動を進めていますが、今年度の人権教育において中心とする目標を「自他の人権を尊重し、思いやりのある子を育てる。」として設定しています。

そして、自分は大切な存在であること、自分と同じように仲間も大切な存在であると気付いて分かること、いじめや差別をしない心を育てることを通して、自他ともにかけがえのない存在であるという意識を高める指導を重ねていきたいと考えています。

ご家庭でもぜひ、人権、自分を大切にすること、相手の気持ちに思いを馳せること、いじめについて、差別について、お子さんとお話する時間をもつていただければと思います。

そして、お子さんとお話される中で、あるいは日常の中で、ご心配なことがございましたら、どうぞ、担任あるいは学校の職員にお声掛けください。

今後も、一人一人のお子さんが安心して安全に過ごし、確かな学びを通して成長していくことができるよう、丁寧に教育活動を進めて参ります。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力を頂ければ幸いです。よろしくお願いたします。